

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	02	0401	広報活動充実事業

事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------------------------------	-----------------

《事業目的》

市政情報の発信

《事業開始の背景》

多様な手段により、時期や対象を明確にした市政情報を発信することを目的に始められた。

《事業概要》

- 広報紙の発行
毎月1日及び15日の広報紙の発行（1月1日を除く）
- コミュニティFM放送による市政情報の発信
市の情報番組を定期的に放送
- ホームページによる市政情報の発信
即時性のあるホームページによる情報発信
- ケーブルテレビの活用
ケーブルテレビによるイベント情報等の発信
- 有線放送の活用
有線放送による市政情報の発信

市民参画の有無 [対象外]

《事業展開の留意事項》

《成果指標》

項目	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 市の広報紙を読んでいる市民の割合	%	目標	87	87	
		実績	94.1	93	
② 市役所からタイムリーに情報提供されていると感じる市民の割合	%	目標	46	50	
		実績	63.5	59	
③ ホームページアクセス件数	千件	目標	1,104	1,365	
		実績	1,451	1,397	

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
行政経営	総合政策部	秘書政策課	俵 恵	444

	25年度	当初(現計)	補正	25年度	26年度
事業費	49,647				
財源内訳	国県支出金				
	地方債				
	その他	834			
	一般財源	48,813			

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

花巻市の情報発信

情報発信の時期・対象を明確化

広報はなまき

手元に置いていつでも情報が見れる

FMOne

即時性
<緊急時の情報発信に対応>

ホームページ

知りたい情報がいつでも調べられる

有線放送・ケーブルテレビ等その他の媒体

即時性<地域・対象者は限定>

市
民

- 1 「広報はなまき」の発行 (19,189千円)
印刷製本 19,189千円
- 2 コミュニティFMの活用 (18,225千円)
外国語インフォメーション謝礼 60千円、番組制作委託 (えふえむ花巻株) 18,165千円
- 3 ホームページの活用 (820千円)
旧システム：保守管理 (10カ月) 189千円
新システム：保守管理 (2カ月) 168千円、システムリース 463千円
- 4 ケーブルテレビの活用 (2,243千円)
映像データ制作委託 (ニューデジタルケーブル株) 2,243千円
- 5 有線放送の活用<東和> (9,170千円)
有線放送施設保守業務委託 他 9,170千円

広報活動充実事業 (としまとめ総括表)

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業J-T	事業名
一般	02	01	02	0401	広報活動充実事業

総合計画	政策 6	市民本位の行政のまちづくり	施策 6-4	情報公開の推進と広報広聴活動の強化
目的	市政情報の発信			
対象	市民			
意図	市民の行政情報に対する関心を高め、市が発信する情報に目を向けてもらう			

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？
 分かりやすいホームページを目指し、ホームページのデザインの変更および作成システムの更新を行った。

目的妥当性	公共関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	市と市民が情報を共有するためには、市からの情報発信は不可欠である。
有効性	成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	市民からの意見反映と、庁内の情報発信力の強化により、市民の興味を引き付け、読む・聴くといった行動を更に促す。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	[FMについて] 番組の制作形態の変更などにより、委託料の減額の可能性がある。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適正である	[FMについて] 雑音の多い地域について、雑音解消の手段を講じ、良好な聴取環境を提供することで、受益機会を拡大することが可能である。

《総合評価》…上記評価結果の総括
 市民への分かりやすい行政情報の発信のため、広報紙は行政情報に特化し、写真や図を利用することにより読みやすい紙面づくりに努めた。FM、ホームページ、有線放送は、即時性を生かしたタイムリーな情報提供を行った。

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること

○広報紙の発行
 毎月1日及び15日の広報紙の発行（1月1日を除く）

○コミュニティFM放送による市政情報の発信
 市の情報番組を定期的に放送

○ホームページによる市政情報の発信
 即時性のあるホームページによる情報発信

○ケーブルテレビの活用
 ケーブルテレビによるイベント情報等の発信

○有線放送の活用 有線放送による市政情報の発信

市民参画の有無 [対象外]

市民協働の形態 共催 実行委員会・協議会 事業協力・協定
 後援・協賛 補助・助成 委託

活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)
① 広報はなまき発行部数	部/回	計画	37,500	37,800
		実績	35,500	35,500
② FMの行政番組数	本	計画	17	17
		実績	12	11
③ 有線による放送件数	件/年	計画	650	650
		実績	644	765
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)
① 市の広報紙を読んでいる市民の割合	%	目標	87	87
		実績	94.1	93.4
② 市役所からタイムリーに情報提供されていると感じる市民の割合	%	目標	46	50
		実績	63.5	59.4
③ ホームページアクセス件数	千件	目標	1,104	1,365
		実績	1,451	1,397

要因分析 達成度 目標値より高い 概ね目標値どおり 目標値より低い

広報はなまきやコミュニティFM、ホームページ、有線放送などによる適時適切な市政情報の提供を心掛けたため、目標値を上回ることができたと考える。